

(4) 平成29年度 愛媛県技術・家庭科教育研究会（小中合同開催）参加報告

ア 期 日 平成29年8月10日（木） 9：00～15：30  
イ 会 場 東温市立重信中学校  
ウ 日 程

9：00～ 9：30	受付
【全体会】	
9：30～ 9：45	開会挨拶
9：40～10：00	新学習指導要領の改訂について（全体） 愛媛県教育委員会指導主事 小原 邦宏
10：00～10：30	平成33年度中国四国地区技術・家庭科研究大会愛媛大会にむけて 中学校・小学校の研究について
【分科会】	
10：50～11：25	学習指導要領改訂について（小学校・中学校家庭科）
11：30～11：55	研究発表 「生活を見つめ、考え、よりよくしようと実践する児童の育成」 松山市立湯山小学校 泉 奈々
13：00～14：30	講演・演習 「生活と地球環境との新たな調和をめざすモノづくり」 講師 花王株式会社 事業推進部門 業務推進センター 深澤 純一
14：40～15：10	情報交換・諸連絡
15：20～15：30	閉会式

エ 研修内容

昨年度より始まった本研究大会は、小中連携を図り、研究をより深化・充実させる目的で、本年度より小中合同開催となった。参加者は、中学校の技術・家庭科の担当教員（免許外担当教員も含む）と小学校の家庭科主任を中心に約100名であった。

新学習指導要領の改訂については、愛媛県教育委員会の小原指導主事より、技術・家庭科の改訂の基本方針や、主体的・対話的で深い学びについてのポイントをご指導していただいた。

分科会では、松山市立湯山小学校の泉先生より、「食」に視点を当てた2年間の実践について研究発表があった。学習の流れを「感じる」「受け止める」「働き掛ける」で構成し、問題解決的な学習の充実を図った学習展開の工夫に取り組んでいた。第5学年の「食べて元気に」では、題材を貫くテーマを「家族が喜ぶごはんのみそしる作りを目指して」と設定し、和食の「魔法」を探りながらわくわくする授業が展開されていた。栄養教諭と連携した学習指導を工夫したり、試食や試し調理を効果的に組み込んだ体験的な活動を重視した展開で、実感を伴った理解を促す授業実践であった。中学校の先生方からは、「児童が楽しみながら主体的に学習に取り組む様子が見られ大変参考になった。」という感想が出された。



午後からは、花王株式会社の環境教育プログラムを活用して、講義・演習を行った。講義では、環境を考えたモノ作りについて、洗濯洗剤の改良の歴史や、環境に配慮した最新の製品と節水の関係について、資料を基に分かりやすく説明があった。演習は、洗剤の働きを確かめる実験で、実際に界面活性剤が汚れを浮かび上がらせる様子を見て、先生方から驚きの声が挙がった。

今後は実践発表を基に意見交流が活発にできるよう協議形態を工夫したり、座席を小・中で一緒にするなどさらに改善して、貴重な交流の機会として本研究大会をよりよいものにしていきたい。